

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年1月25日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.84】

意味不明な別荘代金の入金先をめぐる松崎証言！

沖縄の別荘の売却代金をなぜ東労組の口座に入金させたのか、2009年1月26日の「週刊現代裁判」の尋問で松崎氏は厳しく尋問されているが、証言内容は以下の通り意味不明だ。

(被告代理人) 皆さんからいくらくらい寄附してもらったんですか。あなたの言い方で言うとカンパしてもらったんですか。(松崎) 私ばかりに出させたということで、多くの方からいただきましたが、1,500か2,000万以内だと思います。(代理人) それは贈与してもらったんですか。(松崎) いいえ、違います。みんなで出そうということになっていて、出さずに私が出しましたから、それに対して皆さんも分担してくれたということですね。(代理人) 皆さんがカンパしたお金は東労組の口座に入れたんですか。(松崎) そうだと思いますよ。(代理人) だって、あなたが5,000万なら5,000万のお金を出したわけでしょう。(松崎) はい。(代理人) その分をあなた1人に負わせておいたんじゃないかと、あるいはもったいないということで皆さんが応分の負担をされたということだから、あなたのところに振り込めばいいんじゃないの。(松崎) だから、便宜的に東労組がその件を扱ってありましたから、東労組の口座に入ったんでしょうね。-(中略)-(代理人) それで、今帰仁村の土地建物を福祉事業協会に売りまして、そのお金がJR東労組名義の口座に入ったんですか。(松崎) ...よく分かりませんが、多分そうだと思います。(代理人) 奥さんも含めてあなたが売主となれば、あなた名義の口座に入るのが普通だと思うんですが、そこでJR東労組の口座が出てくるのはなぜなのでしょう。(松崎) ですから、東労組の口座に皆さんがいろいろ入れていただいているから、そこに便宜的に入れてくれたんだと思います。(代理人) 今帰仁村の土地建物を売却して、売却した代金をどこの口座に入金させるかということをおあなたが指定したわけでしょう。(松崎) そう思いますね。(代理人) そのときに、なぜJR東労組の口座を指定したんですか。(松崎) 今帰仁村を売って...よく覚えておりませんね。(代理人) JR東労組の口座に入金させたことは確かだけれども、その理由は覚えていないということですか。(松崎) はい、そう思います。(代理人) そう思いますじゃなくて、そうなんですか。(松崎) よく分からないから。(代理人) どこが分からないんですか。JR東労組の口座に入金させたこと自体も分からないのか、あるいは入金させたことは確かだけれども、その理由がわからないのか、どういうことでしょうか。(松崎) 後者だと思います。(代理人) あなたはしょっちゅうJR東労組の口座に自分のお金を預けたりしていたんですか。(松崎) そんなことはありませんね。(代理人) 普通はそうですね。(松崎) はい。(代理人) そのとき、そのような立場であったか、仮に代表者であろうとも、代表者個人のお金と労組のお金が峻別されるべきことは当然ですね。(松崎) 当然です。(代理人) だけど、このとき、なぜJR東労組の口座にあなた個人の財産である今帰仁村の土地建物の代金を振り込ませたのか、理由は不明ということですね。(松崎) だから、これは東労組が便宜的に預かっていてくれたので、その口座に私のものを入れてもらったと私は思っています。(代理人) 一時預かってもらったのは、92年のポーランドの件であなたが5,000万円出した後のみんなの分担金を預けてもらったただけでしょう。(松崎) そう思いますよ。(代理人) 何年も前のことですね。(松崎) はい。

松崎氏は個人と組合のお金を分けるべきことはわかっているそうだが...

何千万円ものやり取りに対し何ともあやふやな証言だが、松崎氏は個人と労組の資金とは峻別すべきことは分かっているらしい。それならば、売却代金を東労組の口座に入れたのは、そもそも、別荘の購入資金を東労組が出していたからでは、と疑うのも当然だろう。